

経営比較分析表（平成29年度決算）

岩手県雫石町 国保葛巻病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	-	救 臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
6,355	5,962	第1種該当	13:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

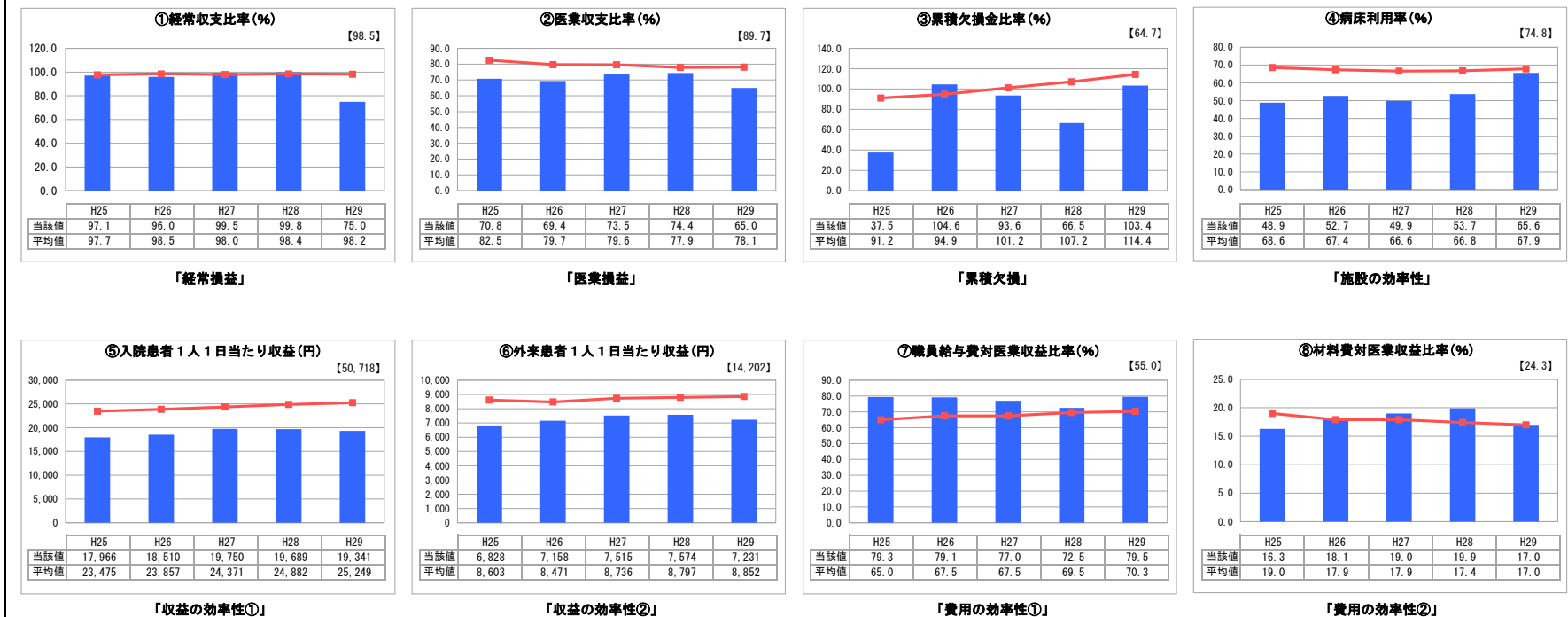
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
42	18	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	60
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
34	18	52

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



I 地域において担っている役割

山間部に位置する町内唯一の有床病院である。また、救急告示病院として救急患者の受け入れをしていることから、町民のみならず隣接町村の住民の命と健康を守る重要な役割を担っている。

II 分析欄

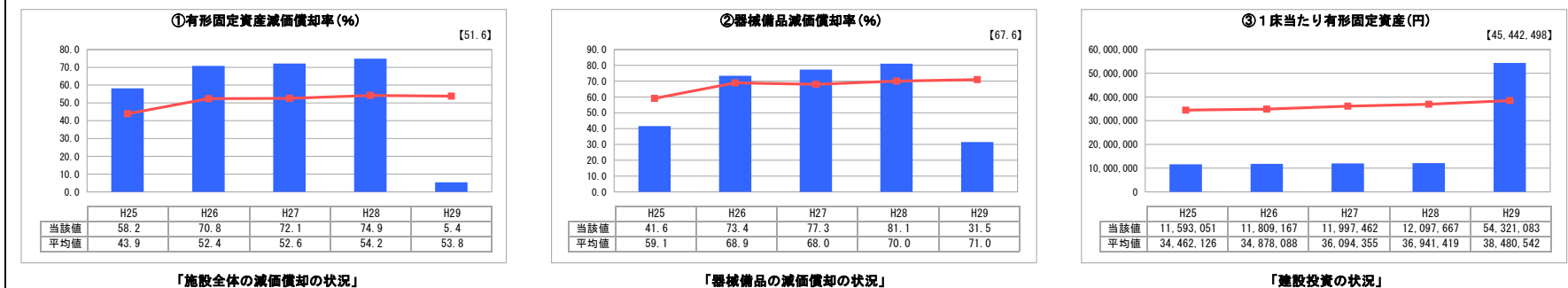
1. 経営の健全性・効率性について

平成29年度に一般病床数を減床させたことに伴い病床利用率は60%台に回復している。一方で職員の年齢構成が高いため、給与比率が高く医業収益率が類似団体と比較し低くなっている。また、経常収支比率については一般会計からの繰入金（医業外収益）が多いため、他団体に比較して高くなっている。

2. 老朽化の状況について

建築40年を経過し建物の老朽化が進んだことから、平成29年9月に新病院に移転した。医療機器等についても耐用年数が近づいているものが多かったため、施設の新築と同時期に更新しているため全国や類似病院ともに平均値を大きく下回っている。一方、新病院建設や医療機器の更新により1床当たり有形固定資産がいずれの平均よりも上回っていることから将来的には減価償却費の増大が予想されるため、改善に向けた検討が必要である。

2. 老朽化の状況



全体総括

新病院への町民の期待も大きく、新築移転に伴いより効果的な経営について検討を行っている。特に収益の向上については、一人当たりの単価の向上を進める必要がある。また、職員の高い年齢構成等から計画的な人材確保を進める必要がある。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。